



平成28年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年10月13日

上場取引所 東

上場会社名 イワキ株式会社
 コード番号 8095 URL <http://www.iwaki-kk.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理財務部長
 四半期報告書提出予定日 平成28年10月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 岩城 修
 (氏名) 熱海 正昭

TEL 03-3279-0481

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年11月期第3四半期の連結業績(平成27年12月1日～平成28年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年11月期第3四半期	40,706	△1.9	639	17.4	675	2.7	287	—
27年11月期第3四半期	41,474	3.9	544	△7.9	657	△1.2	△78	—

(注) 包括利益 28年11月期第3四半期 △103百万円 (△138.5%) 27年11月期第3四半期 270百万円 (9.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年11月期第3四半期	8.57	—
27年11月期第3四半期	△2.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年11月期第3四半期	36,829	16,998	46.2	511.21
27年11月期	38,040	17,358	45.6	514.23

(参考) 自己資本 28年11月期第3四半期 16,998百万円 27年11月期 17,358百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年11月期	—	3.00	—	3.00	6.00
28年11月期	—	3.00	—	—	—
28年11月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年11月期の連結業績予想(平成27年12月1日～平成28年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	56,000	1.0	850	51.9	900	29.6	450	—	13.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細につきましては、[添付資料]P.4「2.サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年11月期3Q	34,147,737 株	27年11月期	34,147,737 株
28年11月期3Q	896,869 株	27年11月期	391,057 株
28年11月期3Q	33,505,450 株	27年11月期3Q	33,763,656 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の経済環境予想等の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

第1四半期連結累計期間より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）等を適用し、「四半期純利益」を「親会社株主に帰属する四半期純利益」としております。

なお、以下の記載にあたりましては、平成28年1月13日に提出した四半期報告書の訂正報告書の遡及処理の内容を反映させた数値によっております。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成27年12月1日～平成28年8月31日）におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善がみられるなど緩やかながら回復基調となりました。一方、世界経済は、中国を始めとするアジア諸国経済や資源国等の景気のさらなる下振れや英国のEU離脱問題のリスクの影響など先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループでは、さらなる成長と企業価値の向上を目指し、創業111周年を迎える2025年11月期へ向けた中長期ビジョンを策定するとともに、その第1次となる3カ年の中期経営計画を策定し、各事業での主要施策の展開に注力してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は407億6百万円（前年同期比1.9%減）、営業利益は6億3千9百万円（同17.4%増）、経常利益は6億7千5百万円（同2.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億8千7百万円（前年同期は7千8百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

次にセグメントの概況につきご報告申し上げます。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み換えた数値で比較しております。

医薬・FC事業

医薬品原料分野では、政府の後発医薬品使用促進策を追い風に、既存および新規顧客向けジェネリック医薬品原料の拡販活動を積極的に進めるとともに、欧米やアジアに向けた輸出活動にも注力してまいりました。その結果、医療用医薬品向け原料、一般用医薬品向け原料ともに、新規原料の販売が大幅に伸長いたしました。また、製造原価の低減や高利益率の新規原料の採用に加え、物流費等の販管費の削減効果により、営業利益も大幅に伸長いたしました。

医薬品分野では、4月の薬価改定による厳しい環境下、主要外皮用剤を中心に、調剤薬局、DPC病院等の医療機関における積極的な情報提供活動に取り組んでまいりました。その結果、医療用医薬品は尋常性乾癬治療剤をはじめ主力外皮用剤の売上げが大きく伸長いたしました。また、先行開発費、広告宣伝費等の販管費の減少により、営業利益も伸長いたしました。

以上により、当事業全体の売上高は157億3千5百万円（前年同期比10.4%増）、営業利益は9億6千万円（同25.7%増）となりました。

HBC事業

機能性食品原料および化粧品原料分野では、新規顧客開拓、新規自社企画商品・原料販売、海外顧客への営業活動の強化などを主体とした活動を展開してまいりました。その結果、新規自社企画商品や新規顧客開拓には一定の成果が得られましたが、機能性食品原料におけるインバウンド対象商品の減少の影響を受け、厳しい状況で推移いたしました。

一般用医薬品を主体とした卸売分野では、自社企画商品における企画の充実・提案活動の強化、海外向け販売およびECサイトなどの新規市場への営業活動の展開に注力いたしました。その結果、既存商品の販売不振、自社企画品の新規提案および新規市場への展開の進捗が遅れるなど厳しい状況となり、前年並みの推移となりました。

通販化粧品分野では、新規顧客の獲得・既存顧客へのプロモーション活動の強化とともに、テレビCM対象製品の拡大、新製品の開発に注力いたしました。その結果、テレビCMをはじめとした広告媒体・広告量の拡大による新規顧客の獲得、既存顧客へのプロモーション活動に成果が見られたことにより好調に推移いたしました。しかしながら、売上高の拡大を優先課題として積極的に広告宣伝費を投下した結果、営業利益は前年実績を下回る結果となりました。

以上により、当事業全体の売上高は164億5千3百万円（同2.1%減）、営業利益は2千3百万円（同80.1%減）となりました。

化学品事業

表面処理薬品分野では、海外展開の拡大や、電子部品向け薬品および車載部品向け薬品においてさらなる製品開発に注力いたしました。またグローバルな価格競争に対抗すべくグループ活動による最適地生産を強化し、生産効率の向上や製造コストの削減を進めました。その結果、国内大手メーカーでの新規採用等がありましたが、新製品の採用の遅れにより非常に厳しい状況で推移いたしました。

表面処理設備分野では、他社との差別化を図るため顧客が要求する次世代の微細回路形成に有効な新型装置の開発を進め、付加価値のある装置による販路の拡大と低下した価格の回復に注力いたしました。その結果、中国ローカル企業との取引は堅調に推移いたしました。国内における企業の設備投資低迷の影響があり全体としては低調に推移いたしました。

以上により、当事業全体の売上高は38億9千8百万円（同33.7%減）、営業損失は3億7千9百万円（前年同期は3億2千4百万円の営業損失）となりました。

食品事業

食品原料分野では、顧客の問題解決に主眼をおいた新規原料の提案活動、既存原料の拡販活動、関連会社を軸とした受託加工の推進に取り組みました。その結果、新規原料の提案活動と既存原料の拡販活動は農産加工品等の新規受注獲得により伸長いたしました。受託加工の推進は低調に推移いたしました。

以上により、当事業全体の売上高は28億1千4百万円（前年同期比0.4%減）、営業損失は6百万円（前年同期は1千1百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産368億2千9百万円（前連結会計年度末比12億1千1百万円減）、負債合計198億3千万円（同8億5千1百万円減）、純資産は169億9千8百万円（同3億6千万円減）となりました。

総資産の減少の主な理由は、現金及び預金の減少9億6千6百万円、投資有価証券の減少4億1千8百万円によるものです。負債合計の減少の主な理由は、電子記録債務の減少4億1千7百万円、未払費用の減少5億6千6百万円によるものです。純資産の減少の主な理由は、自己株式の増加1億6百万円、その他有価証券評価差額金の減少2億9千8百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年11月期の連結業績予想につきましては、平成28年1月14日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(特定子会社以外の子会社の異動)

第2四半期連結会計期間より、弘塑電子設備（上海）有限公司、Tokyo Kakoki Co., Ltd. (Cayman)の重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項（4）、連結会計基準第44-5項（4）及び事業分離等会計基準第57-4項（4）に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ17,985千円増加しております。また、当第3四半期連結会計期間末の資本剰余金が17,985千円減少しております。

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第2四半期連結会計期間より適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,562,550	3,596,104
受取手形及び売掛金	13,193,219	13,431,907
電子記録債権	1,608,370	1,988,763
商品及び製品	3,400,549	3,108,856
仕掛品	1,065,080	1,343,537
原材料及び貯蔵品	780,391	872,795
その他	711,591	690,590
貸倒引当金	△67,666	△67,597
流動資産合計	25,254,088	24,964,958
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,422,395	8,357,871
減価償却累計額	△5,730,938	△5,768,475
建物及び構築物（純額）	2,691,456	2,589,395
機械装置及び運搬具	7,809,579	7,939,343
減価償却累計額	△6,898,682	△7,085,832
機械装置及び運搬具（純額）	910,896	853,511
土地	3,494,358	3,407,025
その他	3,339,169	3,404,584
減価償却累計額	△2,324,077	△2,529,041
その他（純額）	1,015,091	875,543
有形固定資産合計	8,111,803	7,725,476
無形固定資産	246,857	183,231
投資その他の資産		
投資有価証券	3,494,143	3,075,590
その他	1,148,682	1,081,878
貸倒引当金	△214,755	△201,986
投資その他の資産合計	4,428,070	3,955,483
固定資産合計	12,786,731	11,864,191
資産合計	38,040,819	36,829,150

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,737,225	8,709,287
電子記録債務	3,242,699	2,825,633
短期借入金	2,287,500	2,560,000
未払費用	1,273,358	706,444
未払法人税等	252,397	228,901
返品調整引当金	13,400	13,400
製品保証引当金	12,836	4,193
賞与引当金	39,491	284,087
その他	916,064	887,021
流動負債合計	16,774,972	16,218,967
固定負債		
長期借入金	1,040,000	995,000
退職給付に係る負債	1,591,529	1,632,804
繰延税金負債	599,846	445,263
その他	675,803	538,918
固定負債合計	3,907,179	3,611,987
負債合計	20,682,151	19,830,955
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,572,382	2,572,382
資本剰余金	4,206,965	4,188,979
利益剰余金	9,234,540	9,426,181
自己株式	△87,352	△193,562
株主資本合計	15,926,536	15,993,981
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,233,039	935,033
繰延ヘッジ損益	113	△1,011
為替換算調整勘定	150,915	4,171
退職給付に係る調整累計額	48,061	66,019
その他の包括利益累計額合計	1,432,130	1,004,213
純資産合計	17,358,667	16,998,195
負債純資産合計	38,040,819	36,829,150

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年12月1日 至平成27年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年12月1日 至平成28年8月31日)
売上高	41,474,252	40,706,428
売上原価	33,330,258	32,473,177
売上総利益	8,143,993	8,233,250
販売費及び一般管理費	7,599,891	7,594,233
営業利益	544,102	639,017
営業外収益		
受取利息	1,970	1,466
受取配当金	41,694	44,236
受取賃貸料	58,375	54,757
有価証券償還益	66,836	—
その他	84,537	97,866
営業外収益合計	253,414	198,326
営業外費用		
支払利息	33,392	27,332
持分法による投資損失	19,585	3,634
賃借料	34,821	34,821
為替差損	20,644	70,995
その他	31,237	24,702
営業外費用合計	139,680	161,484
経常利益	657,836	675,859
特別利益		
固定資産売却益	—	928
投資有価証券売却益	—	29,382
特別利益合計	—	30,310
特別損失		
固定資産処分損	11,084	3,484
投資有価証券売却損	—	462
関係会社株式評価損	6,000	—
過年度決算訂正関連費用	—	50,811
特別損失合計	17,084	54,758
税金等調整前四半期純利益	640,751	651,412
法人税、住民税及び事業税	393,857	415,782
法人税等調整額	325,099	△51,419
法人税等合計	718,956	364,362
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△78,204	287,049
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△78,204	287,049

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成26年12月1日 至 平成27年8月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成27年12月1日 至 平成28年8月31日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△78,204	287,049
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	396,939	△296,611
繰延ヘッジ損益	△6,300	△1,125
為替換算調整勘定	△46,393	△109,844
退職給付に係る調整額	3,552	17,957
持分法適用会社に対する持分相当額	624	△1,395
その他の包括利益合計	348,422	△391,018
四半期包括利益	270,217	△103,969
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	270,217	△103,969

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年4月12日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式の取得を決議し、自己株式499,000株の取得を行いました。主にこの結果により、当第3四半期連結累計期間にて自己株式が106,210千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式残高は193,562千円となっています。

なお、当該決議に基づく自己株式の取得につきましては、平成28年4月26日をもって終了しています。

(追加情報)

(法人税等の税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正)

「所得税法等の一部を改正する法律」(平成28年法律第15号)及び「地方税法等の一部を改正する等の法律」(平成28年法律第13号)が平成28年3月31日に公布され、平成28年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率等の引き下げ等が行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の32.3%から平成28年12月1日に開始する連結会計年度及び平成29年12月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異については30.9%に、平成30年12月1日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異については30.6%となります。

この税率変更により、繰延税金負債(繰延税金資産を控除した金額)が13,215千円減少し、その他有価証券評価差額金が22,387千円、法人税等調整額が7,612千円、退職給付に係る調整累計額が△1,560千円それぞれ増加しております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成26年12月1日 至平成27年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医薬・FC	HBC	化学品	食品	計				
売上高									
(1)外部顧客への売上高	14,252,839	16,809,701	5,878,745	2,825,235	39,766,523	1,707,729	41,474,252	—	41,474,252
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	631,953	24,980	7,453	—	664,387	2,021	666,409	△666,409	—
計	14,884,793	16,834,681	5,886,199	2,825,235	40,430,910	1,709,751	42,140,661	△666,409	41,474,252
セグメント利益又は損失(△)	764,217	117,461	△324,398	△11,254	546,025	△579	545,445	△1,343	544,102

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、動物用医薬品の卸売、保険薬局の経営等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,343千円には、セグメント間取引消去△1,062千円および棚卸資産の調整額△281千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

「II 当第3四半期連結累計期間 2. 報告セグメントの変更等に関する事項」に記載のとおりです。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成27年12月1日 至平成28年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医薬・FC	HBC	化学品	食品	計				
売上高									
(1)外部顧客への売上高	15,735,685	16,453,433	3,898,629	2,814,438	38,902,186	1,804,242	40,706,428	—	40,706,428
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	348,500	25,065	7,017	—	380,583	397	380,980	△380,980	—
計	16,084,186	16,478,498	3,905,647	2,814,438	39,282,770	1,804,639	41,087,409	△380,980	40,706,428
セグメント利益又は損失(△)	960,307	23,359	△379,165	△6,880	597,619	41,619	639,239	△222	639,017

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、動物用医薬品の卸売、保険薬局の経営等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△222千円には、セグメント間取引消去△43千円および棚卸資産の調整額△178千円が含まれております。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、顧客・取引先の課題解決に向けた様々なニーズに当社グループのあらゆる機能で応える「策揃え」を実現するため、当社グループが既に持つビジネスをバリューチェーンが見通せる単位に事業を再構成したことに伴い、報告セグメントを従来の区分から、以下の4区分に変更しております。

「医薬・FC (Fine Chemical) 事業」

医薬品・医薬品原料の製造および販売、体外診断薬・研究用試薬の卸売、医療機器の販売など

「HBC (Health & Beauty Care) 事業」

化粧品原料・機能性食品原料の販売、一般用医薬品および関連商品の卸売、化粧品の通信販売など

「化学品事業」

表面処理薬品・電子工業薬品・化成品の製造および販売など

「食品事業」

食品原料の製造および販売など

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。